

始業式・全校朝会等での校長の話は「校長の授業」である

寺 本 聡 （紋別郡湧別町立芭露小学校 校長）

1

入学式・卒業証書授与式はもとより、始業式・終業式、全校朝会に各種行事・集会活動と、校長が子どもに向けて話す機会が多い。小学校1年生から6年生までいる子どもたちに話すわけであるから、小難しいことは話せない。ましてや、長く話すなど厳禁である。入学式・卒業証書授与式を除いて、私は次のように心がけている。

- ① 短く話すこと
- ② モノを用意すること
- ③ 評価や意思表示を入れること

2

以下は、平成23年度の2学期制後期始業式（10月4日）における私（校長）の話であり、始業式終了後に記録したものである。

全校児童は49名。その内1年生は6名、2年生は8名である。

短い中にも、子どもたちに伝えたい事を話したい。念頭に置いたのは、次のことである。

- ① 10月末に大きな学校行事の一つ、学芸会を控えていること。
- ② 自己肯定感を持たず、すぐに諦めたり一生懸命に取り組もうとしなかったり、クラスの子とよくトラブルを起こす男児がいる。その子に対して、特に伝えたいこと。

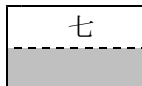
■ここからが記録部分である -----

0.（校歌を歌った後なので歩きながら）元気に歌えた人？（歌っていなかった子も挙手）

1. 後期最初の挨拶です、元気にしましょう。おはようございます！（おはようございます）

2.（口に人差し指を当てて、両手の掌を下向きにして押し下げる）※静かに座る合図

3.（次のカードを示し1年生に問う）「1年生、なんと読みますか？」（C 「セ」）



←別な白い紙で覆ってある

4. そうきたか（笑）。2年生、なんと読みますか？（C 「なな」「しち」）

5.（1年生に向かって）これは、漢字の「なな、しち」なんです。（児島）七美さんの

「七」ですね。

6. じゃあ、これ（と言って、覆っている紙を剥がす）。

七
七七

これは何と読みますか？（C なな・なな・なな）
七が三つだから「ななみ」さんじゃないよ（児島さん：笑）。

※ここは引っ張らないでテンポ良く進める。

7. これは昔の漢字で、今はこう書きます。（と、言って折ってあるカードを下ろす）

七
七七
キ喜

（C よろこぶ）
「よろこぶ」とか「キ」と、読みます。

8. ところで、この「喜（旧字を示し）」は何となくこう見えませんか？（と、言ってカードを折り返す）

七十七

9. それで、77歳のお誕生日のお祝いのことを（カードを裏返して）「喜寿（きじゅ）」と言います。言ってごらんください。（C きじゅ。） もう一度（C きじゅ）

喜寿

10. （別なカードを取り出し）では、これ。「こめのことぶき」と書いて「べいじゅ」と、読みます。「寿」は「おいおい」の意味なんです。「米寿」は何歳のお誕生日のお祝いでしょう？（C 88歳）

米寿

そう、ひっくり返っているけど（「米」を指さし

八十八

）になるので、88歳のお誕生日のお祝いを、米寿と言います。

11. では、これ（カードを折り返し）「はくじゅ」と、言いますが何歳のお誕生日のお祝いでしょう？（C （つぶやき）99歳）

白寿

みんなで、さん・はい。（C 99歳）

12. （白寿の「白」を指さし）ここに、一本「一」を書くと（折ってあるカードを下ろし）「百」になります。その一つ前なので、99歳のお誕生日のお祝いを「白寿」と言うのです。言ってごらんください。（C はくじゅ）
もう一度。（C はくじゅ）

百

13. その99歳、白寿の時に初めて本を書いたおばあちゃんが居ます。詩の本なんですけれどね。しかも、その本は何と100万部も売れたそうです。

14. そのおばあちゃん、（写真を見せながら）「柴田トヨ」さんと言います。このおばあちゃんが書いた本が、（実物を見せながら）これです。

15. 今日は、この本の中から一つ読みますね。（44ページ「あなたに I」）

※子どもたちを見渡しながら、しっとりと読み聞かせる。（『くじけないで』飛鳥新社）

あなたに I

出来ないからって
 いじけていてはダメ
 私だって 九十六年間
 出来なかった事は
 山ほどある
 父母への孝行
 子供の教育
 数々の習いごと

でも 努力はしたのよ
 精いっぱい
 ねえ それが
 大事じゃないかしら

さあ 立ちあがって
 何かをつかむのよ
 悔いを
 残さないために

16. もう一つ、この本のタイトルにもなっている「くじけないで」と、いうのを読みます。
 しっかり聞いて下さいね。(54ページ「くじけないで」)

くじけないで

ねえ 不幸だなんて
 溜息をつかないで

陽射しやそよ風は
 えこひいきしない

夢は
 平等に見られるのよ

私 辛いことが
 あったけれど
 生きていてよかった

あなたもくじけずに

17. 今月末に、大きな行事がありますね。何ですか? (C 学芸会!)
18. そう。これから練習が始まって、いろいろあるでしょうけれど、この本のようにくじけないで頑張ってくださいね。
19. 何とか頑張れそうだ、という人だけ立ってごらん下さい。(C全員が立つ)
20. おっ、全員が立ってくれた。嬉しいなあ。
21. それじゃあ、後期もみんなで頑張っていきましょう。先生のお話、終わります。
 (C 終わります)

今回は、子供との問答も少なく、教室に帰ってから担任教師と確認したりする場面も特段に設定しなかった。

理由は二つ。一つは時間が少しかかりそうだったので、よりテンポ良く進めるため。もう一つは、学芸会も含めて学校生活における子供たちへの(特定の子供をより意識して)メッセージを重視したかったからである。

なお、始業式後に児童会三役の任命式が行われ、そこでも校長の話があった。三役の頑

張りだけではダメで、みんなの協力が必要なのだとことを子供から引き出し、話す。

■記録ここまで -----

3

私の話の時間は、約5分間ほどであった。

普段の全校朝会等の話よりはやや長いものであったが、モノを用意し、問答を入れたことで1年生も最後まで聞いていることができたと考える。

始業式・全校朝会等での校長の話は、「校長の授業」である。

これが、私の意識である。

そのため、出来るだけ子どもとの「問答」を入れるようにしている。

さらには、教室に戻ってから、子どもたちが担任の先生と話したり確認するように仕向けることも心がけている。例えば、「〇〇については、教室に戻ってから担任の先生に教えてもらって下さいね」と、いうようにである。こうすることで、子どもたちだけではなく、職員も私の話を聞かざるを得ない状況にするのである。

また、今回の「評価や意思表示」については、「19. 何とか頑張れそうだ、という人だけ立ってごらん下さい。(C全員が立つ)」である。

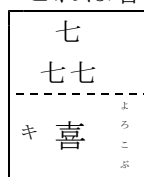
もし、立たない子がいたらどうするか、ということも考えられるが、その時はそのまま、体育館に残っていることになる。立って皆が教室に戻って行こうとする中、一人座ったまま体育館に残る子はそうは居ない。仮に座ったままの子が居た場合は、何か事情があると予想されるので、しっかりその子の話を聞いてあげればよい。ここでも授業であり、生徒指導なのである。

4

なお、先述の記録の中で次のように記しているところがあるが、改めて調べ直し確認すると間違いであることがわかった。

【要修正箇所】

7. これは昔の漢字で、今はこう書きます。(と、言って折ってあるカードを下ろす



(C よろこぶ)

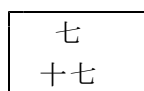
「よろこぶ」とか「キ」と、読みます。

8. ところで、この「喜(旧字を示し)」は何となくこう見えませんか?

(と、言ってカードを折り返す)

七十七

元々は、「喜」の草書体が



(A)

のように見えたのが、さらに見間違われて

七
七七

 (B)

となり、それがそのまま店の看板などに使われるようになったとのことである。

つまり、(B)は「喜」の草書体から作られた「俗字」であるとのことである。

低学年の子どもにもわかりやすく話そうとしたため、「昔の字」と説明したが、やはり書体表記によるものであり「昔の字」としたのは不適切であったと考える。要修正部分として、記しておきたい。

【引用文献・資料】

1. 柴田トヨ『くじけないで』（飛鳥新社）平成22年（2010年）3月25日初版
2. 柴田トヨ氏の顔写真（インターネットにて検索・印刷）